

# I 総括

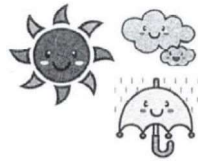
◆ 一目統計

(令和5年4月1日現在)

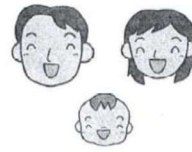
自然環境  
人口・世帯



管内面積  
231.25 km<sup>2</sup>



気象  
年間平均気温 17.7℃  
年間降雨量 2,529 mm



人口  
77,954人

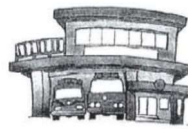


世帯数  
38,033世帯

消防予算  
構成・人事



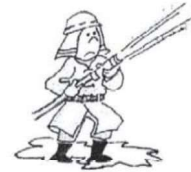
消防予算  
1,086,715千円



署所  
消防本部 1  
署 1  
分遣所 2



職員数  
定数 100人  
実数 100人  
(再任用1人)



消防団員数等  
分団数 15分団  
定数 541人  
実数 485人

機械・施設



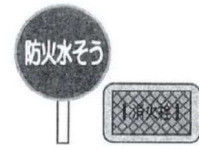
消防自動車等  
水槽付消防ポンプ車 3台  
小型ポンプ付積載車 3台



特殊車両等  
13m放水塔付消防ポンプ自動車 1台  
津波大規模風水害対策車 1台  
救助工作車 1台  
その他車両 5台



救急自動車等  
高規格救急自動車 5台



消防水利  
消火栓 1,159基  
防火水槽 222基

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

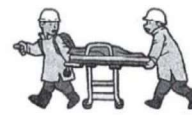
火災  
救急  
救助



火災件数 28件  
死者 1人 1位  
負傷者 0人 2位  
損害額 19,849千円



出火原因  
火入れ、その他  
こんろ、電気機器  
配線器具、不明



救急出場  
出場件数 4,172件  
搬送人員 3,875人

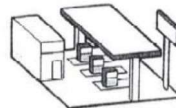


救助出動  
出動件数 35件  
活動件数 31件

予 防



防火対象物  
2,610件



危険物施設  
貯蔵所 94件  
取扱所 70件



防火対象物  
定期点検報告制度  
特別認定事業所 11件  
定期点検報告事業所 41件



防火クラブ  
幼年消防 8団体  
少年消防 2団体

※ 防火対象物定期点検報告制度の事業所数については、令和5年3月31日現在の件数  
※ 定期点検報告事業所については、報告のあった事業所の件数

## 1 始良市消防本部の位置と地勢

始良市は、薩摩半島と大隅半島の分岐点、鹿児島県本土のほぼ中央に位置し、南は県都鹿児島市、西に薩摩川内市、東に霧島市と隣接しています。

東経130度38分、北緯31度44分に位置し、東西23.7km、南北24kmに広がり、面積は231.25km<sup>2</sup>で、鹿児島県総面積の2.5%を占めています。

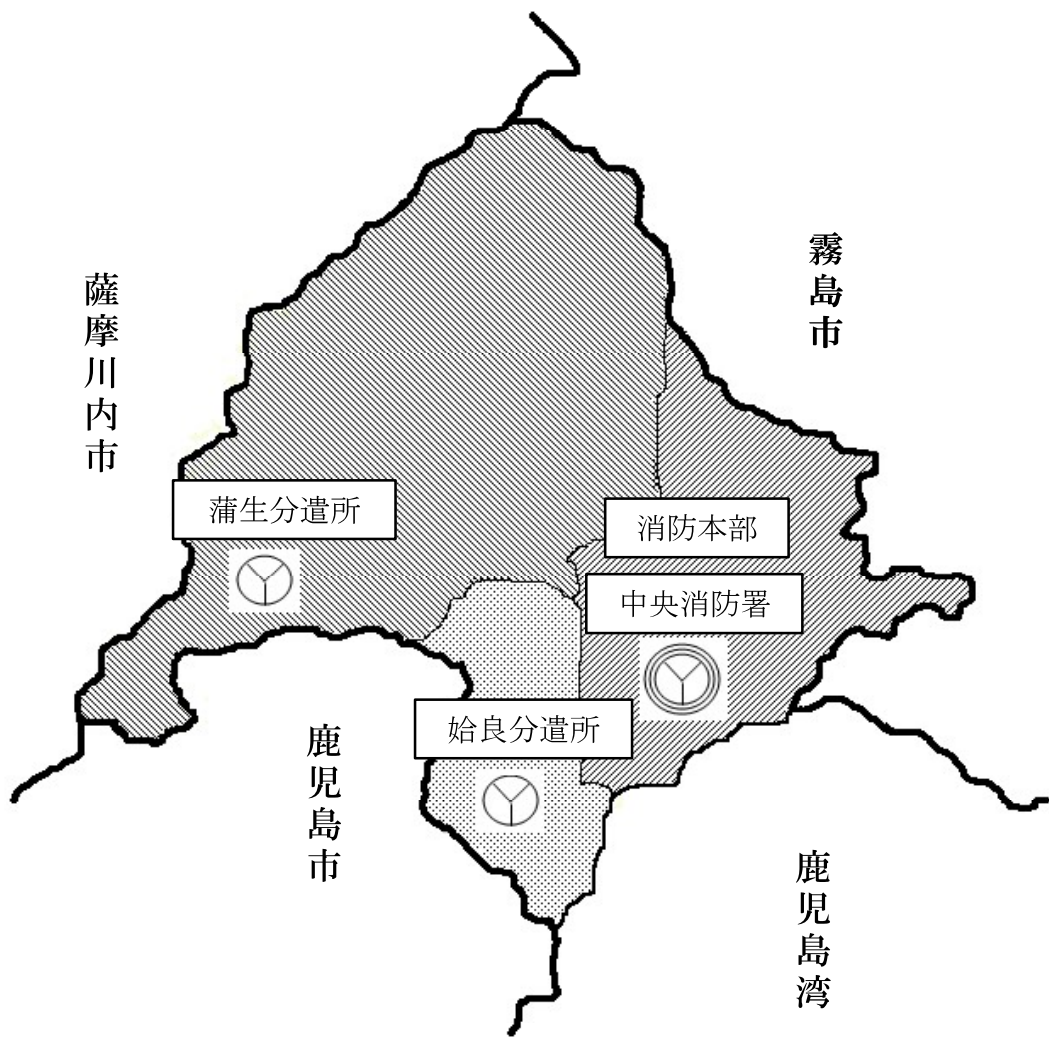
古い歴史と文化に育まれた始良市の指定文化財は県下で一番多く、伝統芸能や文化遺産などの文化財が数多く残されています。

また、樹齢約1,500年と推定される日本一の巨樹「蒲生の大クス」で有名な「蒲生八幡神社」、日露戦争に従軍した人の帰還を記念して建てられた希少で珍しい石造りの「山田の凱旋門」、日本の滝百選に選ばれている「龍門滝」など歴史あふれる名所や豊かな自然に恵まれています。

消防本部の位置 東経 130° 38′ 北緯 31° 44′



消防本部管内地図



### 3 消防本部・署の沿革

年 月 日	概 要
平成22年 3月23日	始良市が誕生し、始良市消防本部発足 初代消防長に宮原千年就任
平成22年 3月31日	消防吏員3人定年退職、2人普通退職
平成22年 4月 1日	市長部局から2人出向 消防吏員5人採用し、実人員89人
平成22年 5月 6日	救急救命士資格取得1人（計12人）
平成22年10月 8日	平成22年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（薩摩川内市）
平成23年 1月 8日	始良市消防出初式（加治木運動場）
平成23年 3月16日	高規格救急自動車更新（中央消防署に配備）
平成23年 3月14日 ～ 3月23日	平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災「東北 地方太平洋沖地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県 隊として総務省消防庁長官から派遣要請を受け、延べ9人出場 （派遣先：宮城県石巻市）
平成23年 3月31日	初代消防長宮原千年退任
平成23年 4月 1日	第2代消防長に黒木俊己就任 市長部局へ1人出向、市長部局から1人出向 消防吏員2人採用（救急救命士）、実人員89人 救急救命士資格取得者2人（計14人）
平成23年 4月25日	救急救命士資格取得1人（計15人）
平成23年12月26日	鹿児島県ドクターヘリ運航開始
平成24年 1月15日	始良市消防出初式（始良市始良公民館）
平成24年 3月31日	消防吏員3人定年退職
平成24年 4月 1日	消防吏員4人採用し、実人員90人
平成24年 5月 1日	救急救命士資格取得2人（計17人）
平成24年 6月13日	救急救命士資格取得1人（計18人）
平成24年 6月15日	消防救急無線電波伝搬調査及び基本設計業務委託の契約締結
平成24年 7月14日	消防吏員1人死亡退職、実人員89人
平成24年10月 1日	消防吏員1人採用し、実人員90人
平成24年11月21日	消防庁舎建設に伴う隣接地土地家屋取得
平成24年12月 5日	高規格救急自動車更新（蒲生分遣所に配備）
平成25年 1月 6日	始良市消防出初式（始良市蒲生中学校グラウンド）
平成25年 3月31日	消防吏員2人定年退職
平成25年 4月 1日	市長部局総務部へ3人出向、市長部局から2人出向 消防吏員3人採用し、実人員90人
平成25年 4月22日	救急救命士資格取得1人（計19人）
平成25年 5月16日	消防緊急通信システム等移設設置業務委託の契約締結
平成25年 5月31日	始良市消防庁舎設計業務委託の契約締結 始良市消防庁舎地質調査業務委託の契約締結 始良市消防庁舎土地地質更正測量業務委託の契約締結

年 月 日	概 要
平成25年 6月 6日	消防通信システムデジタル化実施設計業務委託の契約締結
平成25年 7月11日	始良市消防本部中央消防署仮庁舎改修工事の契約締結
平成25年 8月27日	始良市消防本部庁舎アスベスト除去工事の契約締結
平成25年 9月 1日	始良市消防本部庁舎解体工事の契約締結
平成25年 9月 1日	消防本部、通信指令室（あいらくリーンセンター）・中央消防署 （旧庁舎敷地内北側事務所）仮庁舎移転作業開始
平成25年11月25日	消防団120周年・自治体消防65周年記念大会（東京）
平成26年 1月 5日	始良市消防出初式（加治木運動場）
平成26年 1月28日	始良市消防本部庁舎杭引抜工事の契約締結
平成26年 2月24日	※参考：始良警察署（始良地区安全運転管理協議会事務局）移転業務開始
平成26年 3月31日	第2代消防長黒木俊己退任
平成26年 4月 1日	消防吏員2人定年退職 第3代消防長に岩爪隆就任（市長部局総務部から出向） 市長部局総務部へ2人出向 消防吏員4人採用（うち救急救命士1人）し、実人員90人
平成26年 4月 9日	救急救命士資格取得1人（計20人）
平成26年 4月21日	救急救命士資格取得2人（計22人）
平成26年 5月26日	始良市消防本部庁舎監理業務委託の契約締結 始良市消防本部庁舎新築工事の契約締結 始良市消防本部庁舎新築電気設備工事の契約締結 始良市消防本部庁舎新築空調設備工事の契約締結 始良市消防本部庁舎新築給排水衛生設備工事の契約締結
平成26年 6月12日	消防本部へ軽自動車新規配備
平成26年 6月17日	新庁舎建設地にて安全祈願祭を挙行
平成26年 7月10日	始良市消防本部外構工事の契約締結
平成26年 7月11日	消防通信システムデジタル化整備工事の契約締結
平成26年 7月17日	始良市消防本部国道試掘業務委託の契約締結
平成26年 7月18日	消防通信システムデジタル化施工管理業務委託の契約締結
平成26年 8月19日	始良市消防本部庁舎自家用発電設備工事の契約締結 始良市消防本部庁舎昇降機設備工事の契約締結
平成26年11月21日	始良市消防本部乗り入れ口拡幅工事の契約締結
平成26年11月22日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（福岡県久留米市）
平成27年 1月 6日	始良市消防出初式（加治木運動場）
平成27年 3月10日	水槽付消防ポンプ自動車更新（蒲生分遣所に配備）
平成27年 3月16日	消防通信システムデジタル化整備完成
平成27年 3月20日	始良市消防本部新庁舎完成
平成27年 3月26日	移動式圧縮充填装置購入（中央消防署に設置）
平成27年 3月28日	消防本部・通信指令室（あいらくリーンセンター）・中央消防署 （旧庁舎敷地内北側事務所）仮庁舎より移転作業開始
～ 29日	
平成27年 3月31日	消防吏員5人定年退職
平成27年 4月 1日	始良市消防本部新庁舎開庁式、業務開始

年 月 日	概 要
	消防救急デジタル無線・消防通信指令システム等運用開始 職員定数条例を改正、消防職員90人から100人とする。 市長部局総務部へ2人出向、市長部局から2人出向 消防吏員7人採用（うち女性2人、救急救命士3人）実人員92人
平成27年 4月 8日	救急救命士資格取得1人（計23人）
平成27年 4月20日	救急救命士資格取得2人（計25人）
平成27年 4月27日	始良市消防本部中央消防署仮庁舎解体工事の契約締結
平成27年 5月 7日	救急救命士資格取得2人（計27人）
平成27年 5月16日	消防吏員1人死亡退職、実人員91人
平成27年 6月 4日	消防吏員1人死亡退職、実人員90人
平成27年 7月14日	始良市消防本部訓練塔監理業務委託の契約締結 始良市消防本部訓練塔新築工事の契約締結 始良市消防本部訓練塔新築電気設備工事の契約締結 始良市消防本部訓練塔新築機械設備工事の契約締結
平成27年 9月 9日	始良市消防本部副訓練塔新築工事の契約締結 始良市消防本部副訓練塔新築電気設備工事の契約締結 始良市消防本部副訓練塔新築機械設備工事の契約締結 始良市消防本部外構工事の契約締結
平成27年10月29日	広報連絡車更新（消防本部）
平成27年11月 7日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（大分県佐伯市）
平成28年 1月 6日	始良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成28年 3月22日	始良市消防本部訓練塔・副訓練塔完成
平成28年 3月23日	小型ポンプ付積載車更新（始良分遣所に配備）
平成28年 3月31日	消防吏員1人定年退職
平成28年 4月 1日	市長部局建設部へ1人出向、教育委員会事務局から1人出向 消防吏員6人採用し、実人員95人
平成28年 4月16日 ～ 4月25日	平成28年4月14日21時46分に発生した、「平成28年熊本地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として出動 16日～20日後方支援隊3人、20日～25日救急隊、後方支援隊各1隊6人出場（派遣先：熊本県益城町、美里町、南阿蘇村）
平成28年 5月17日	腕用ポンプ（白男分団より借用）※エントランスホールに展示
平成28年 7月19日	救急救命士資格取得1人（計28人）
平成28年11月 5日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎県島原市）
平成29年 1月 6日	始良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成29年 3月 9日	警防車更新（消防本部）
平成29年 3月23日	水槽付消防ポンプ自動車更新（始良分遣所に配備）
平成29年 3月31日	消防吏員3人定年退職（うち第3代消防長岩爪隆退任） 救急救命士1人退職（計27人）
平成29年 4月 1日	第4代消防長に福ヶ迫勇二就任 市長部局総務部へ2人、建設部へ1人出向、農林水産部から1人、市民生活部より1人出向

年 月 日	概 要
	消防吏員6人（うち消防職経験者2人、救急救命士1人）採用し、実人員97人
平成29年 4月10日	救急救命士資格取得1人（計28人）
平成29年 4月27日	救急救命士資格取得1人（計29人）
平成29年11月11日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（佐賀県武雄市） 始救・あんしんサポート隊発足
平成30年 1月 6日	始良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成30年 2月28日	小型ポンプ付積載車更新（中央消防署に配備）
平成30年 3月 7日	自治体消防70周年記念式典及び消防・防災活動活性化大会（東京）
平成30年 3月23日	高規格救急自動車更新（中央消防署に配備）
平成30年 3月31日	消防吏員1人定年退職
平成30年 4月 1日	消防吏員3人（うち消防職経験者2人）採用し、実人員99人
平成30年 4月16日	救急救命士資格取得1人（計30人）
平成30年11月10日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（鹿児島県東串良町）
平成30年12月 4日	普通救命講習 新規受講者10,000人突破
平成30年12月11日	13m放水塔付消防ポンプ自動車導入 （水槽付消防ポンプ自動車更新、中央消防署に配備）
平成31年 1月 6日	始良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成31年 3月19日	高規格救急自動車寄贈 （一般社団法人日本自動車工業会、中央消防署に配備）
平成31年 3月31日	消防吏員2人定年退職（うち第4代消防長福ヶ迫勇二退任） 消防職員1人定年退職
平成31年 4月 1日	市長部局へ2人出向、市長部局から3人出向 第5代消防長に米澤照美就任 消防吏員3人（うち消防職経験者（救急救命士）1人）採用し、 実人員100人（うち救急救命士31人）
令和 元年 6月 4日	始良・蒲生分遣所増築設計業務委託の契約締結
令和 元年 7月 5日	土地取得（蒲生分遣所女性エリア増築に伴う地目変更登記） 所有権移転（旧蒲生町→始良市）、地目変更（田→宅地）
令和 元年 8月 3日 ～ 4日	こども消防士育成プロジェクト実施（70人参加）
令和 元年 8月21日	始良分遣所訓練塔防水工事の契約締結
令和 元年 9月30日	膨張式エアータント購入（中央消防署）
令和 元年10月 1日	『火災多発非常事態』宣言 高機能消防指令センター情報系更新
令和 元年11月	新型コロナウイルス 中国武漢にて発生確認
令和 元年11月 9日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（宮崎県高原町）
令和 2年 1月 6日	始良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
令和 2年 2月28日	津波・大規模風水害対策車を総務省消防庁から無償貸与 （水陸両用バギー等の救助資機材を積載、中央消防署に配備）
令和 2年 3月19日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車導入



年	月	日	概 要
令和 2年	3月	31日	(水槽付消防ポンプ自動車更新、中央消防署に配備)
令和 2年	4月	1日	消防吏員4人定年退職(うち総務部出向者2人(うち救命士1人)) 市長部局へ2人出向
			消防吏員3人(うち消防職経験者1人)、再任用職員2人(週31時間勤務、週23時間15分勤務(身障者))採用し、実人員102人(うち救急救命士30人)
令和 2年	5月	11日	救急救命士資格取得1人(計31人)
令和 2年	5月	27日	救急救命士資格取得1人(計32人)
令和 2年	6月	5日	緊急消防援助隊鹿児島県土砂風水害機動支援部隊合同訓練 (県消防保安課、鹿児島市消防局、薩摩川内市消防局、指宿南九州消防組合、始良市消防本部、訓練場所;始良技建)
令和 2年	7月	6日	蒲生分遣所女性職員用増築工事の契約締結 蒲生分遣所女性職員用増築機械設備工事の契約締結
令和 2年	7月	4日 ～ 7月9日	令和2年7月3日から熊本県を中心に発生した、「令和2年7月豪雨」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊「土砂風水害機動支援部隊」として9人出動(派遣先:熊本県八代市、芦北町)
令和 2年	12月	10日	蒲生分遣所女性職員用増築完成
令和 3年	1月	6日	始良市消防出初式(加治木運動場)
令和 3年	2月	1日	Net119緊急通報システム運用開始
令和 3年	3月	18日	搬送用アイソレーター装置導入(国庫補助金活用)
令和 3年	3月	31日	消防吏員1人定年退職
令和 3年	4月	1日	消防吏員1人(消防職経験者)、再任用職員3人(週31時間勤務(うち身障者1人))採用し、実人員103人
令和 3年	5月	6日	救急救命士資格取得1人(計33人)
令和 3年	6月	20日	ジュニアリーダー育成プロジェクト(14人参加)
令和 3年	8月	16日	災害時における消防用水等の供給支援に関する協定締結(始良伊佐地区生コンクリート協同組合)
令和 3年	10月	1日	鹿児島県消防長会事務局へ職員1人研修派遣
令和 3年	12月	15日	救助工作車更新(中央消防署に配備)
令和 4年	1月	6日	始良市消防出初式(加治木運動場、加音ホール)
令和 4年	3月	26日 ～ 27日	こども消防士育成プロジェクト実施(34人参加)
令和 4年	3月	30日	高規格救急自動車更新(始良分遣所に配備)
令和 4年	3月	31日	消防吏員1人定年退職(第5代消防長米澤照美退任) 消防吏員1人普通退職
令和 4年	4月	1日	第6代消防長に原口浩幸就任 市長部局へ2人出向、市長部局から2人出向 消防吏員2人、再任用職員1人(週31時間勤務(うち身障者1人))採用し、実人員101人
令和 4年	4月	27日	救急救命士資格取得1人(計33人)
令和 4年	11月	19日	こども消防士育成プロジェクト実施(35人参加)

年	月	日	概	要
	～	20日		
令和	4年	11月30日	消防吏員1人普通退職 実人員100人	
令和	4年	12月15日	高規格救急自動車更新（中央消防署に配備）	
令和	5年	1月6日	始良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）	
令和	5年	4月1日	市長部局へ2人出向、市長部局から2人出向 市長部局へ1人研修派遣	
令和	5年	4月26日	救急救命士資格取得1人（計33人）	

※始良郡西部消防組合消防本部・署の沿革については、IX付録（P74～P79）に掲載